

NJPPP委託事業
栄養改善ビジネスの国際展開支援事業

ベトナムでの健康食品活用及び野菜・果実摂取に関する基礎調査
～健康食品や野菜・果物に対する消費者の意識調査～
報告書

令和4年2月3日－令和4年3月16日
カゴメ株式会社

- p. 2: 目次
- p. 3: 本調査の背景と狙い
- p. 4: 調査方法
- p. 6: 調査結果(健康食品に対する消費者の意識)
- p. 9: 調査結果(ヘルスクレーム付き商品に対する消費者の意識)
- p. 14: 調査結果(野菜・果物に対する消費者の意識)
- p. 20: 総括、今後の展望

本調査の背景と狙い

- ・ベトナムでは、1990年から2017年の間に死因に占める非感染性疾患の割合が62.3%から79.0%に増加しており、生活習慣病対策が重要な課題となっている。
- ・生活習慣病予防のためには、野菜や果物からビタミン、ミネラルなどの栄養成分を十分に摂取することが重要である。一方で、ベトナム保健省の調査によると、WHOが推奨する1日当たりの野菜・果物摂取量(400 g)に対して不足している人の割合が半数以上である。
- ・ベトナムにおける生活習慣病予防のための有効な手段の一つとして、野菜・果物の摂取量を増加させるとともに、野菜・果物を使用した健康食品を広く消費者に普及させ、栄養改善につなげることが挙げられる。そのためには、確固たるエビデンスに基づいた健康食品を開発・販売するとともに、その機能性等に関する正しい情報を効果的に発信し、消費者による認知度の向上に繋げることが重要である。
- ・そこで本事業においては、ベトナムにおいて野菜や果物を使用した健康食品を消費者に効果的に普及させるために必要な要素を把握するため、消費者の意識調査を実施した。

調査方法

(株)ブリッジに委託し、SNSでのオンライン調査(329名)と現地スーパーマーケット店頭でのオフライン調査(305名)の計634名を対象とした調査を実施した。調査アンケートの項目は以下の表の通りとした。各設問の選択肢の詳細は別添資料に示した。

1. 基本情報	
1) 年齢	<選>
2) 性別	<選>
3) 職業	<自>
4) 世帯月収	<選>
5) 居住地	<自>
2. 健康食品に対する意識	
1) 健康食品をどれくらいの頻度で使用していますか？	<選>
2) (1)で使用している方) どのような形態の健康食品を使用していますか？	<選>
3) (1)で使用している方) どのような成分を含む健康食品を使用していますか？	<選>
4) (1)で使用している方) 健康食品にどのような効果を期待して使用していますか？	<選>
5) (1)で使用している方) どのような情報源からの健康食品の情報を最も信頼していますか？	<選>
6) (1)で使用している方) どのような人や機関が推奨する健康食品を最も信頼していますか？	<選>
3. ヘルススクリーム付き商品に対する認知度、意識調査	
1) 政府が認証するヘルスクリーム付き商品があることを知っていますか？	<選>
2) ヘルススクリーム付き商品を使ったことがありますか？	<選>
3) (2)で「ある」と答えた方) どのような形態の商品を使用しましたか？	<選>
4) (2)で「ある」と答えた方) どのような成分が含まれる商品を使用しましたか？	<選>
5) (2)で「ある」と答えた方) どのようなヘルスクリームが記載されている商品を使用しましたか？	<選>
6) (2)で「ない」と答えた方) ヘルススクリーム付き商品を使用しない理由は何ですか？	<自>
7) どのような効果効能があるヘルスクリーム付き商品を最も買いたと思いますか？ (1つのみ)	<自>
8) どのような成分が含まれているヘルスクリーム付き商品を最も買いたと思いますか？ (1つのみ)	<自>
9) どのような形態のヘルスクリーム付き商品を最も買いたと思いますか？	<選>
10) 7)~9)を満たすヘルスクリーム付き商品に対して、1か月にどの程度お金を使おうと思いますか？	<選>

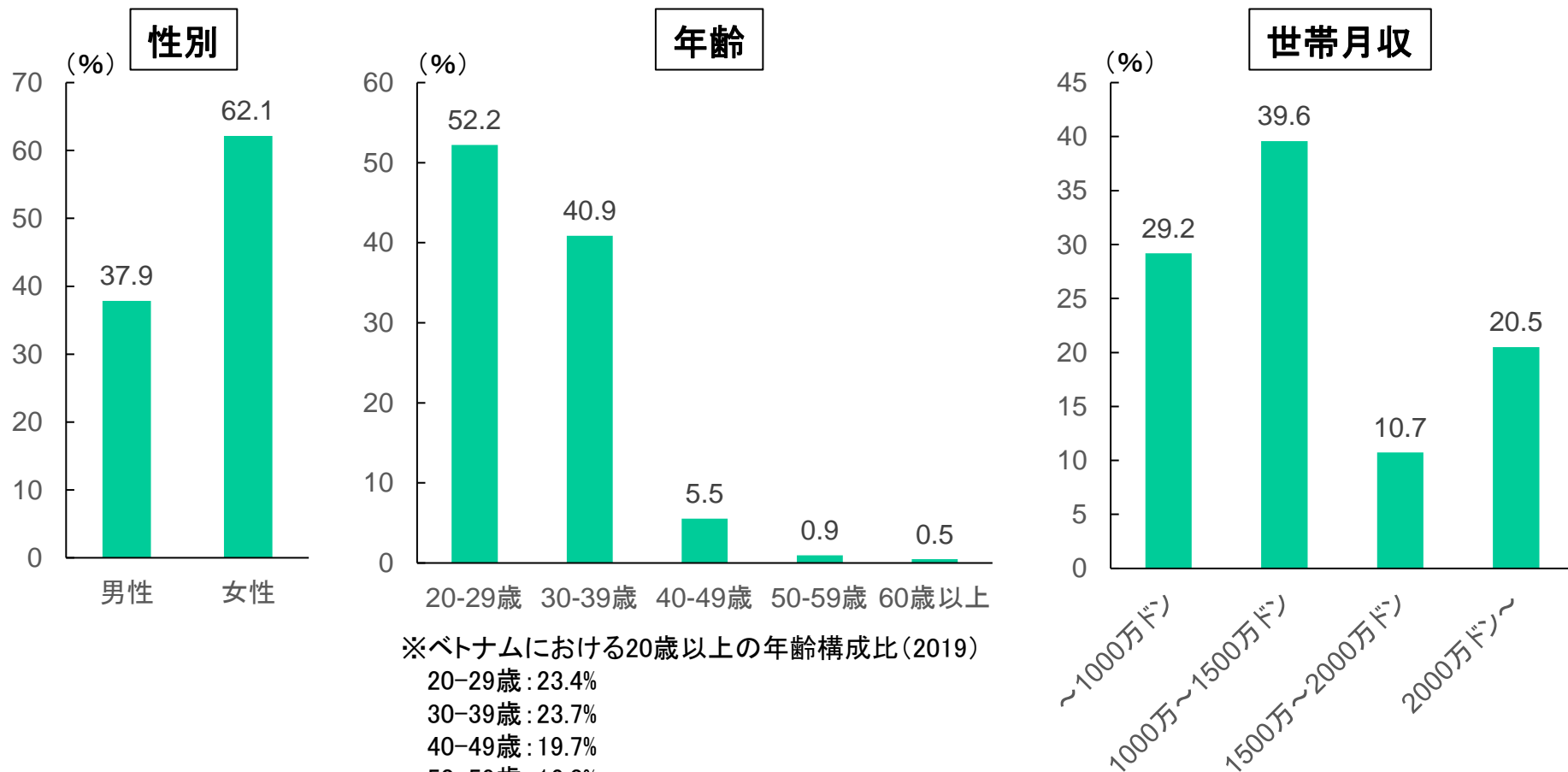
4. 野菜・果物に対する意識調査	
1) 野菜をたくさん食べることは健康に良いと思いますか？	<選>
2) (1)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方) どの野菜が最も健康に良いと考えていますか？ (1つのみ)	<自>
3) (1)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方) 野菜に含まれるどのような成分が最も健康に良いと考えていますか？ (1つのみ)	<自>
4) (1)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方) 3)で選択した成分にはどのような効果効能があると思いますか？	<自>
5) 果物をたくさん食べることは健康に良いと思いますか？	<選>
6) (5)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方) どの果物が最も健康に良いと考えていますか？ (1つのみ)	<自>
7) (5)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方) 果物に含まれるどのような成分が最も健康に良いと考えていますか？ (1つのみ)	<自>
8) (5)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方) 7)で選択した成分にはどのような効果効能があると思いますか？	<自>

※<選>は選択式、<自>は自由回答を表す

アンケート回答者の属性

アンケート回答者の性別、年齢、世帯月収は以下の通りであった。

Q1-1) 年齢 (n=634、選択回答、1つのみ)、Q1-2) 性別 (n=634、選択回答、1つのみ)、Q1-4) 世帯月収 (n=634、選択回答、1つのみ)



※ベトナムにおける20歳以上の年齢構成比(2019)

- 20-29歳: 23.4%
- 30-39歳: 23.7%
- 40-49歳: 19.7%
- 50-59歳: 16.3%
- 60歳以上: 16.8%

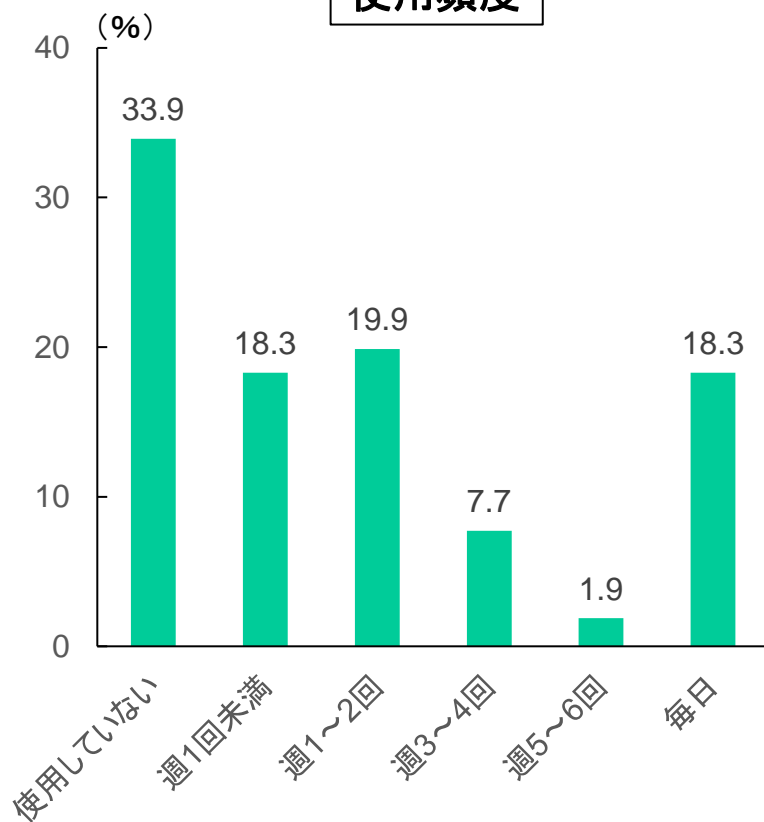
健康食品の使用頻度、摂取形態

- ・全回答者の約2/3の方が健康食品を使用していた。その約1/4の方は毎日摂取していた。
- ・摂取形態としてはサプリメントや乳系飲料、果実飲料が多かった。

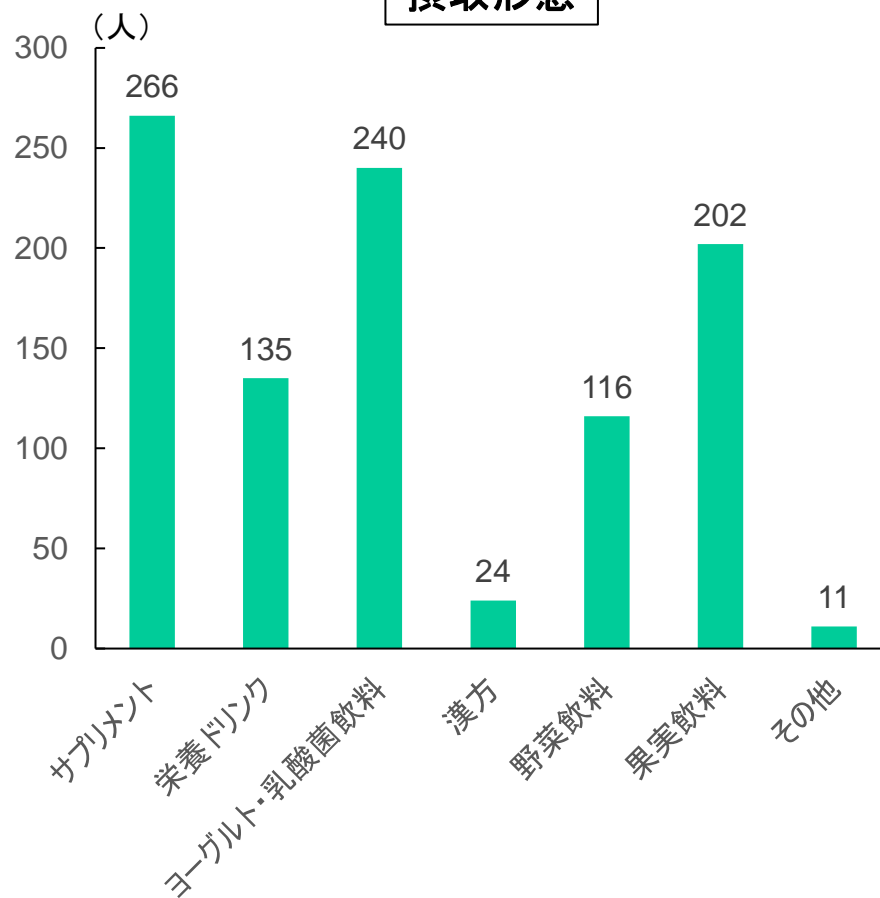
Q2-1) 健康食品をどれくらいの頻度で使用していますか？(n=634、選択回答、1つのみ)

Q2-2) (1)で使用している方)どのような形態の健康食品を使用していますか？(n=419、選択回答、複数回答可)

使用頻度



摂取形態

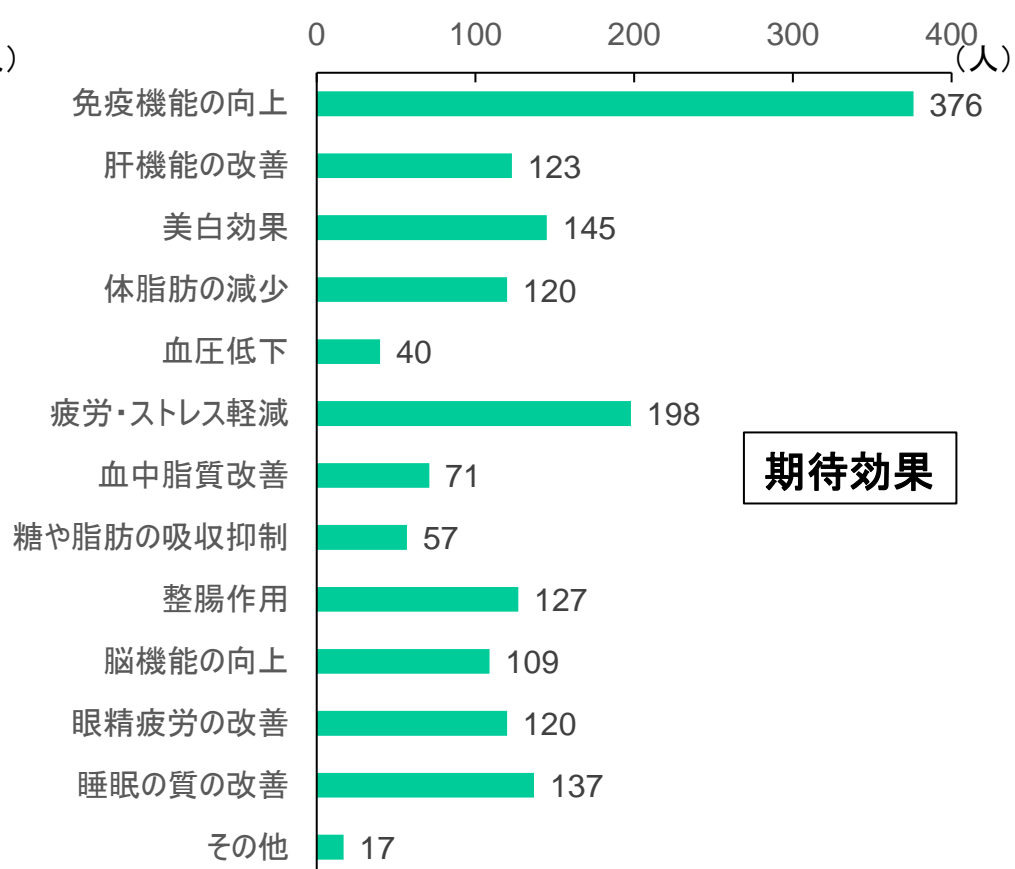
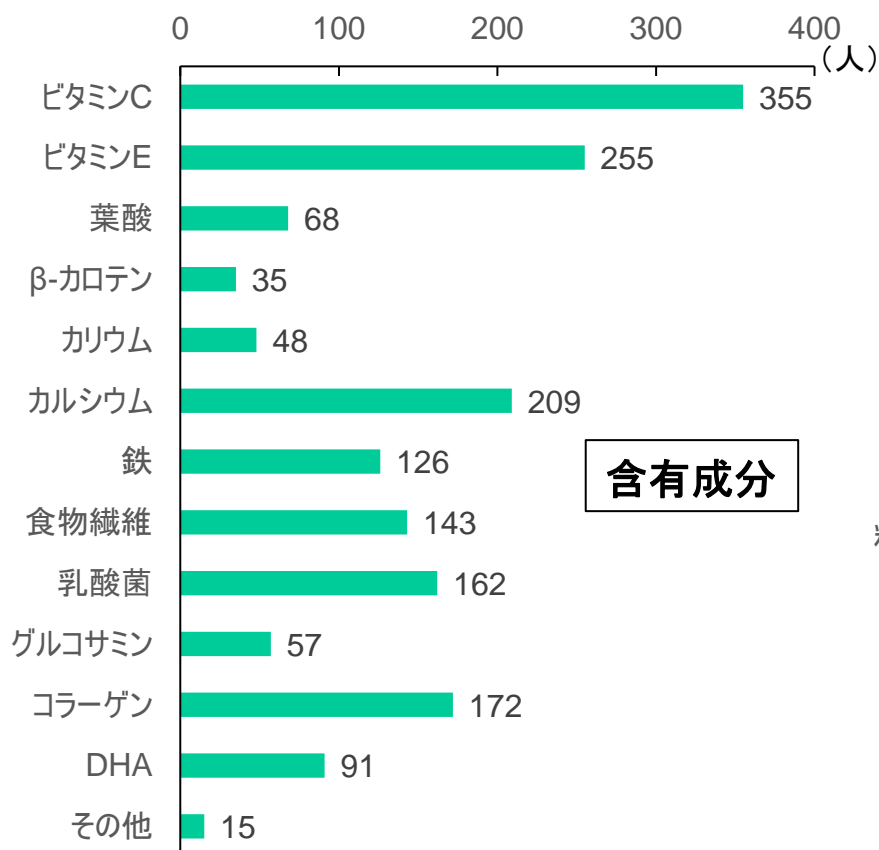


使用している健康食品(含有成分、期待する効果効能)

- ・8割以上の方が、ビタミンCを含有する健康食品を使用していた。
- ・約9割の方が、健康食品による免疫機能の向上に期待していた。

Q2-3) (1)で使用している方)どのような成分を含む健康食品を使用していますか？(n=419、選択回答、複数回答可)

Q2-4) (1)で使用している方)健康食品にどのような効果を期待して使用していますか？(n=419、選択回答、複数回答可)

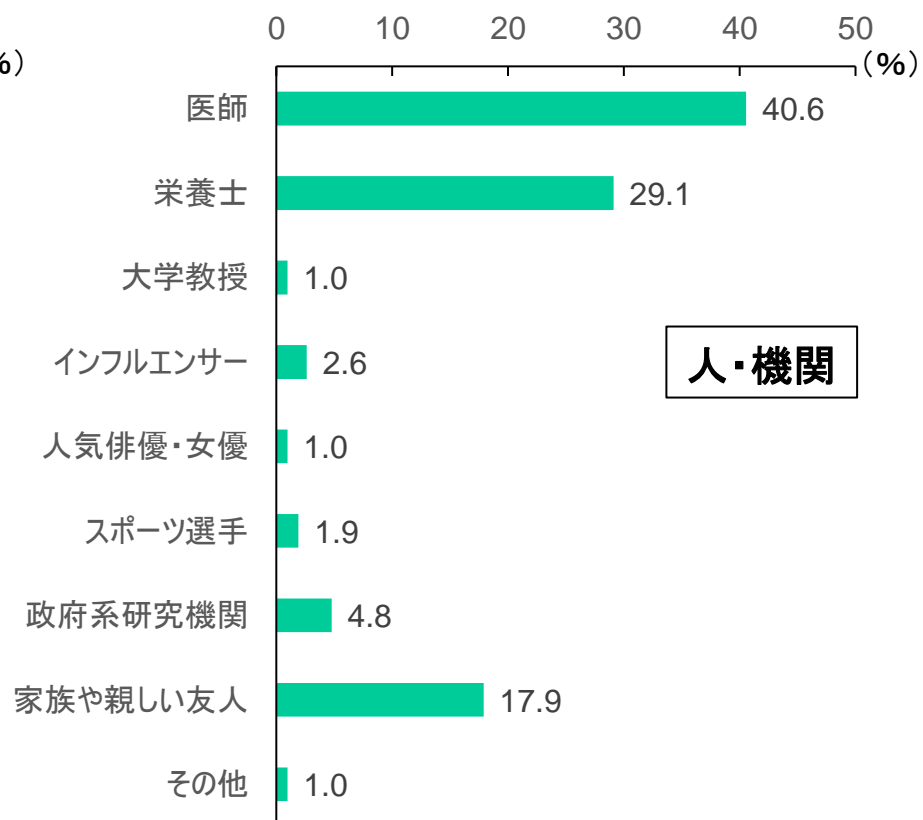
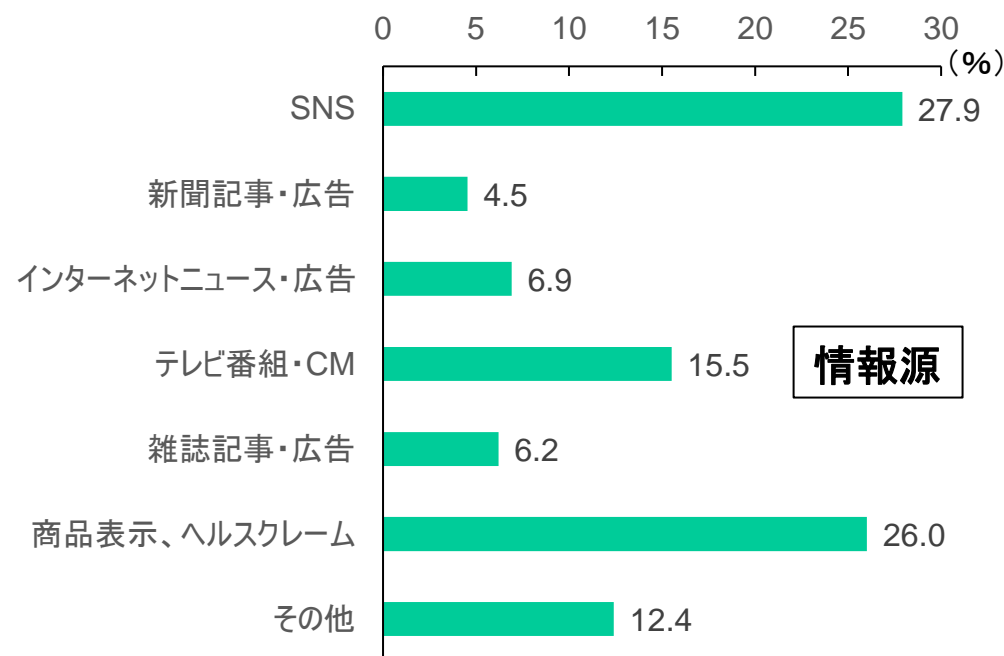


信頼している健康食品の情報源

- ・情報源としてはSNSや商品表示を信頼している人が多かった。
- ・医師や栄養士、家族や親しい友人からの情報を信頼する人が多かった。

Q2-5) (1)で使用している方)どのような情報源からの健康食品の情報を最も信頼していますか？(n=419、選択回答、1つのみ)

Q2-6) (1)で使用している方)どのような人や機関が推奨する健康食品を最も信頼していますか？(n=419、選択回答、1つのみ)



まとめ、考察

- ・健康食品を使用している人は全体の2/3程度であり、ベトナムでは健康食品の使用者がかなり多いことが分かった。
- ・健康食品の中でも、ビタミンCや免疫力の向上に対する期待は顕著に大きかった。これは、昨今の新型コロナウイルスの流行による影響も考えられる。その他、疲労・ストレス軽減や美白効果といった身近な健康問題の解決に期待する傾向が大きく、生活習慣病と関連の深い血圧や体脂肪、血中脂質といった指標に対する効果への期待についてはそこまで大きくなかった。これは、本調査の対象者がベトナム全体の年齢構成比よりも若年層に偏っていたことも理由として考えられるので、今後は年齢で層別した解析も必要であると考えられる。
- ・健康食品の情報源として商品表示を信頼する方は多く、ヘルスクレームは健康食品の普及に効果的である可能性が考えられた。また、医師や栄養士からの情報を信頼する方の割合が高く、消費者への商品の普及にあたっては、医師や栄養士を通じた情報発信が有効であると考えられた。

ヘルスクレーム付き商品の認知度、活用度、摂取形態

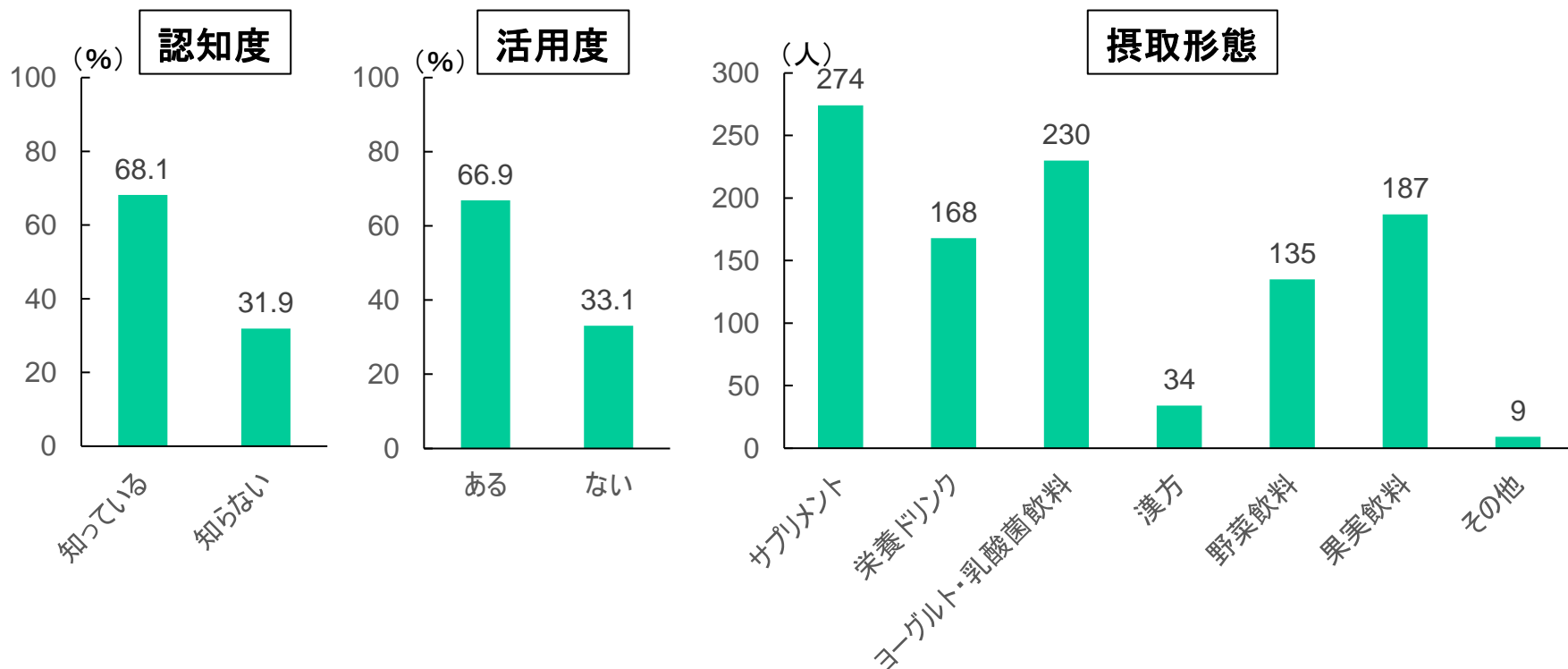
- ・全回答者の約2/3の方がヘルスクレーム付き商品を知っており、使用していた。
- ・摂取形態としてはサプリメントや乳系飲料、果実飲料が多かった。
- ・ヘルスクレーム付き商品を使用しない理由としては、「信用していない」「医師の意見の方が信頼できる」などが多かった。

Q3-1) 政府が認証するヘルスクレーム付き商品があることを知っていますか？ (n=634、選択回答、1つのみ)

Q3-2) ヘルスクレーム付き商品を使ったことがありますか？ (n=634、選択回答、1つのみ)

Q3-3) (2)で「ある」と答えた方)どのような形態の商品を使用しましたか？ (n=424、選択回答、複数回答可)

Q3-6) (2)で「ない」と答えた方)ヘルスクレーム付き商品を使用しない理由は何ですか？ (n=210、自由回答)

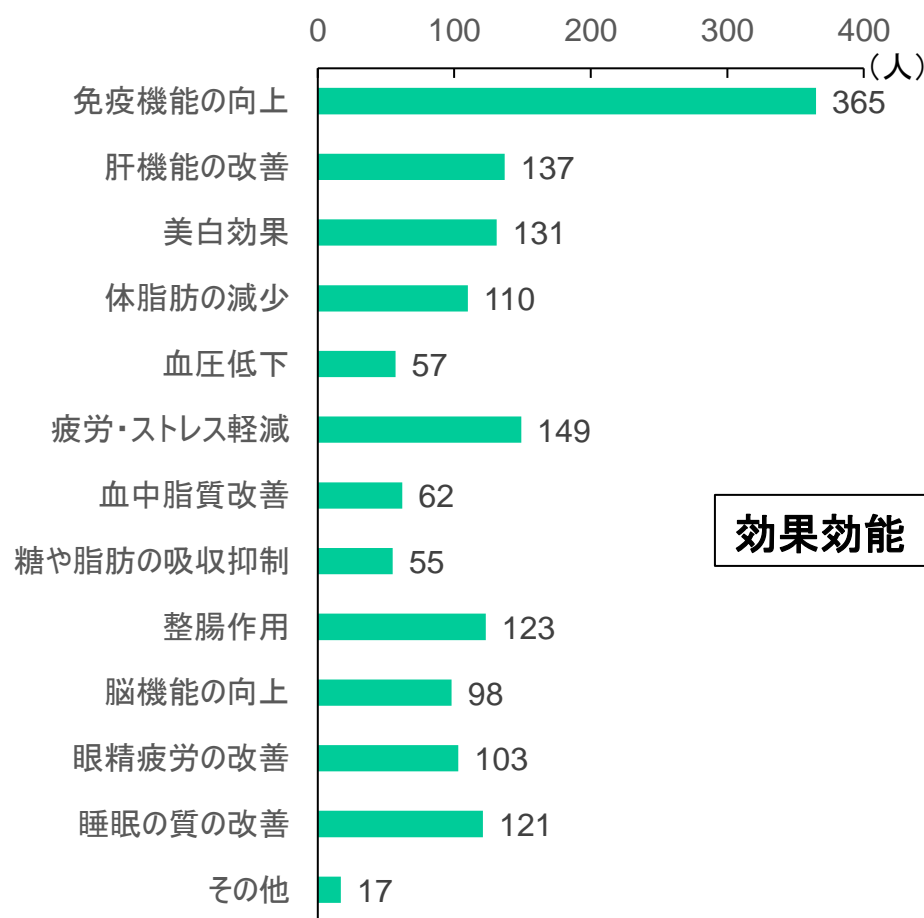
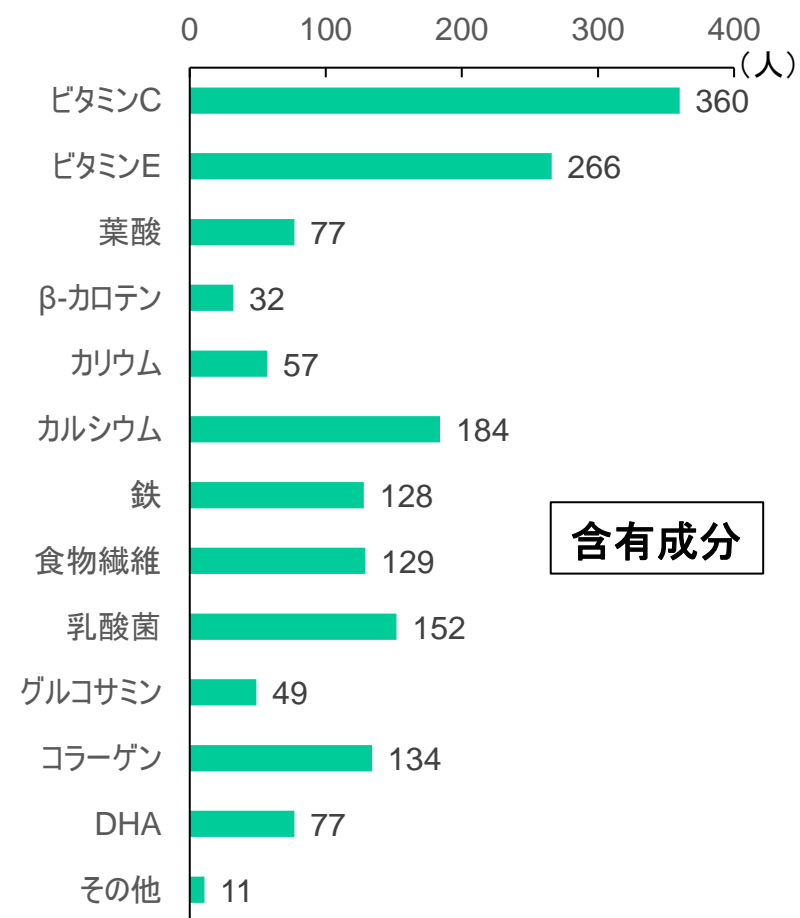


使用しているヘルスクレーム付き商品 (含有成分、表示されている効果効能)

- ・8割以上の方が、ビタミンCを含有する健康食品を使用していた。
- ・8割以上の方が、免疫機能の向上が表示されている商品を使用していた。

Q3-4) (2)で使用している方)どのような成分が含まれる商品を使用しましたか？(n=424、選択回答、複数回答可)

Q3-5) (2)で使用している方)どのようなヘルスクレームが記載されている商品を使用しましたか？(n=424、選択回答、複数回答可)

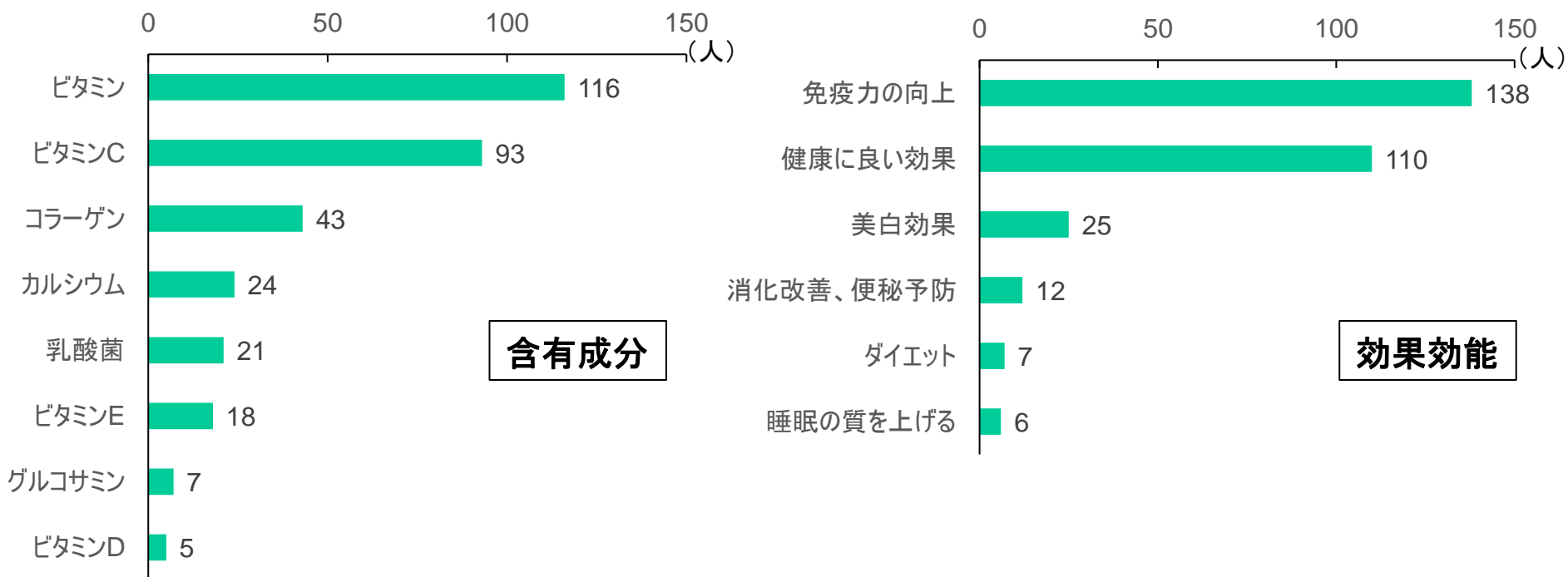


買いたいと思うヘルスクレーム付き商品 (含有成分、効果効能)

- ・ビタミン(特にビタミンC)を含有する商品を買いたいと思う方が多い。
- ・免疫力の向上の他、健康全体に良い効果を商品に期待している方が多い。

Q3-7) どのような効果効能があるヘルスクレーム付き商品を最も買いたいと思いますか？(n=634、自由回答、1つのみ)

Q3-8) どのような成分が含まれているヘルスクレーム付き商品を最も買いたいと思いますか？(n=634、自由回答、1つのみ)



Q3-7)、8)に関しては、以下の通り回答を集計した。

※複数回答している方は集計から除外した。

※自由回答から関連する語句を含むものを1つにまとめて集計した。

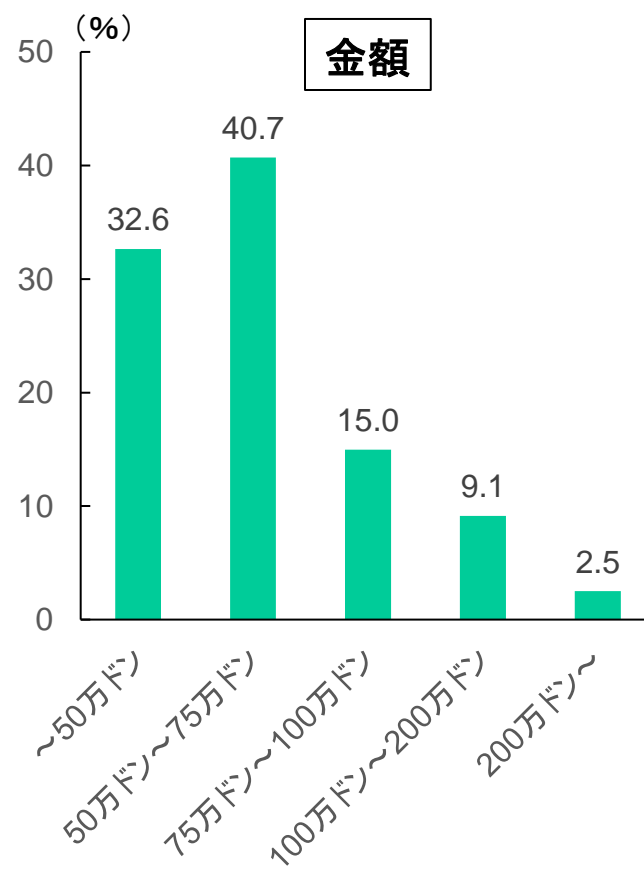
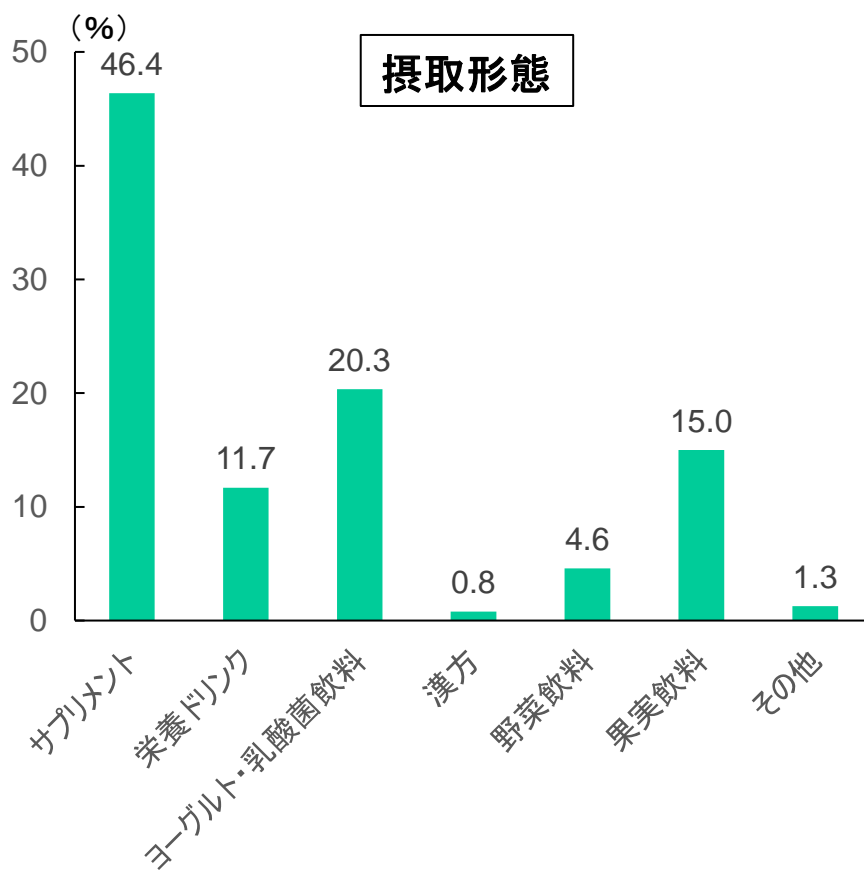
※5人以上が回答した成分及び効果効能を抜粋して回答者が多い順に図示した。

買いたいと思うヘルスクレーム付き商品 (形態、金額)

- ・約半数の方がサプリメント形態の商品を買いたいと考えている。
- ・約7割の方が月当たりの商品購入額は75万ドン以下が妥当だと考えている。

Q3-9) どのような形態のヘルスクレーム付き商品を最も買いたと思いますか？ (n=634、選択回答、1つのみ)

Q3-10) 7)-9)を満たす商品に対して、1か月にどの程度お金を使おうと思いますか？ (n=634、選択回答、1つのみ)



まとめ

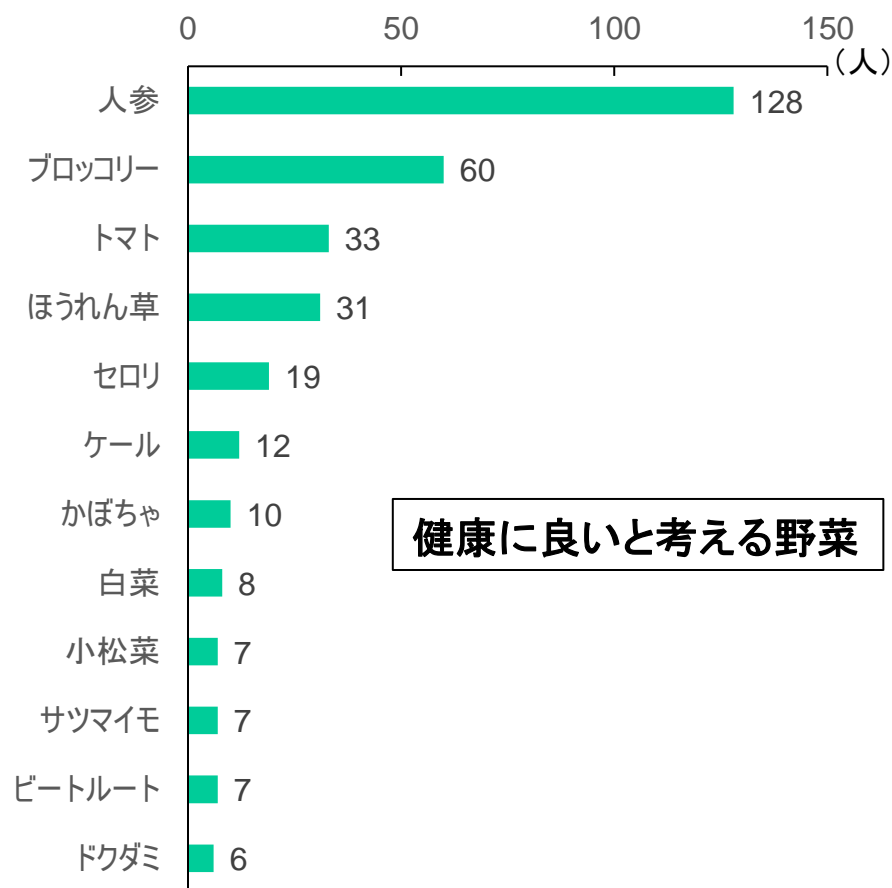
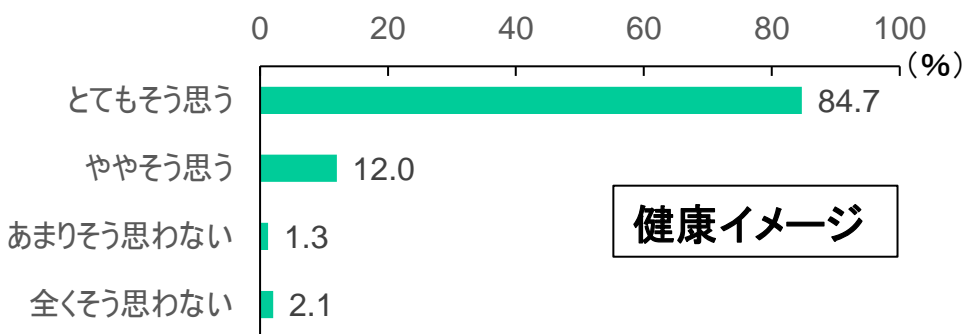
- ・健康食品と同様、ヘルスクレーム付き商品を使用している方は全体の約2/3と多かった。
- ・商品の含有成分や効果効能については、健康食品の調査と同様の傾向が見られた。
本アンケートで健康食品の使用者とヘルスクレーム付き商品の使用者は約8割が重複しており、回答者が重複していたことが理由として考えられる。
- ・商品の購入意向に関する自由回答の調査においても、ビタミンCや免疫力向上に期待する方は多く、ビタミンCの免疫力向上に期待する消費者が多いことが裏付けられた。
- ・ヘルスクレーム付き商品への投資については、1か月あたり50-75万ドンと回答する方が多かった。本調査の母集団の世帯月収が1000-1500万ドンに多く分布することを踏まえると月収の約5%に相当し、投資額としてはかなり大きいという印象であった。
単価が高いと考えられるサプリメント形態の商品を買いたい方が多いことも踏まえると、ある程度の金額のヘルスクレーム付き商品を定期的に購入する意識は高いと考えられる。

野菜に対する健康イメージ

- ・97%の方が野菜は健康に良いと考えていた。
- ・健康に良いと考える野菜はニンジンと回答する方が顕著に多かった。

Q4-1) 野菜をたくさん食べることは健康に良いと思いますか？(n=634、選択回答、1つのみ)

Q4-2) (1)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方)どの野菜が最も健康に良いと考えていますか？(n=613、自由回答、1つのみ)



Q4-2)に関しては、以下の通り回答を集計した。

※複数回答している方は集計から除外した。

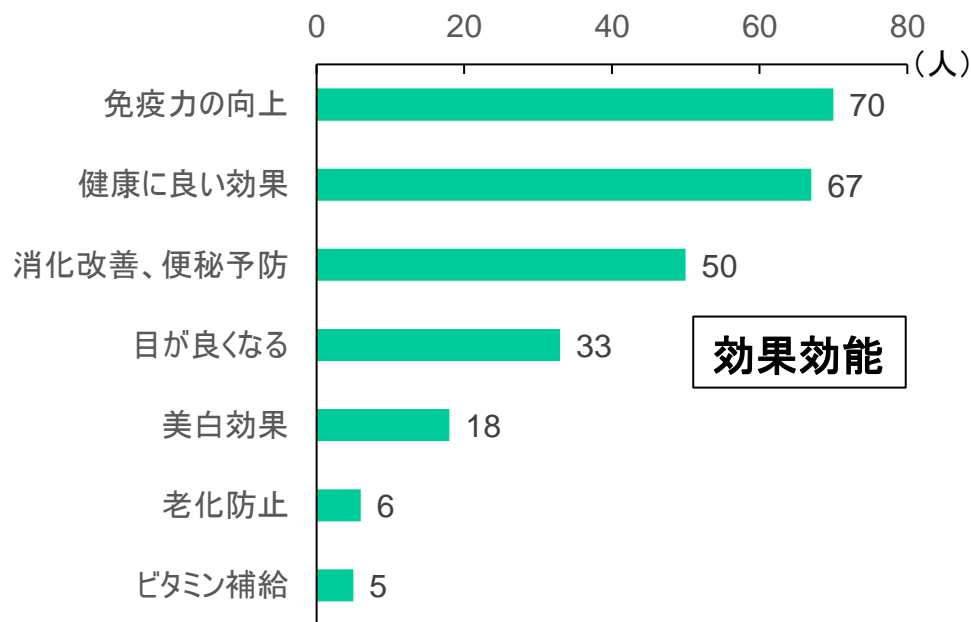
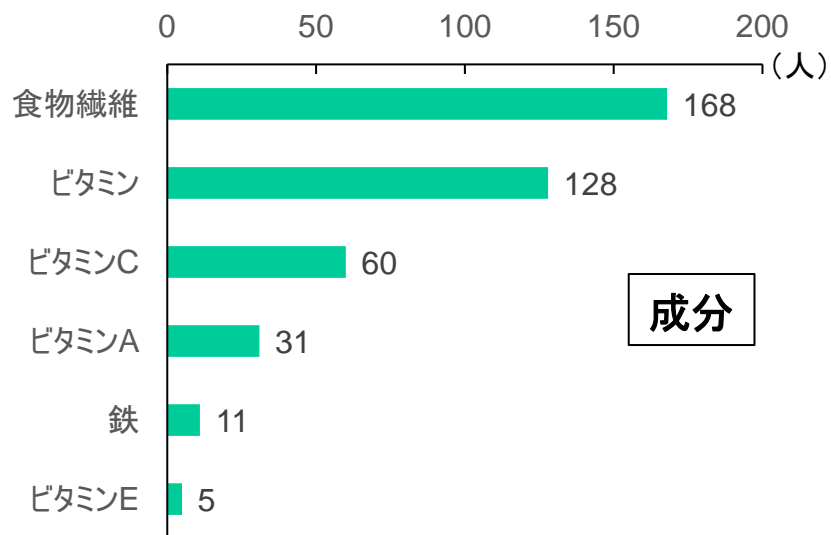
※自由回答から関連する語句を含むものを1つにまとめて集計した。

※5人以上が回答した野菜を抜粋して回答者が多い順に図示した。

野菜から想起される成分、効果効能

- ・野菜に含まれる食物繊維が健康に良いと考える人が多かった。
- ・免疫力向上のほか、消化改善や便秘予防効果を野菜から想起する人が多かった。

Q4-3)(1)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方)野菜に含まれるどの成分が最も健康に良いと考えますか？(n=613、自由回答、1つのみ)
Q4-4)(1)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方)3)の成分にはどのような効果効能があると思いますか？(n=613、自由回答、1つのみ)



Q4-3)、4)に関しては、以下の通り回答を集計した。

※複数回答している方は集計から除外した。

※自由回答から関連する語句を含むものを1つにまとめて集計した。

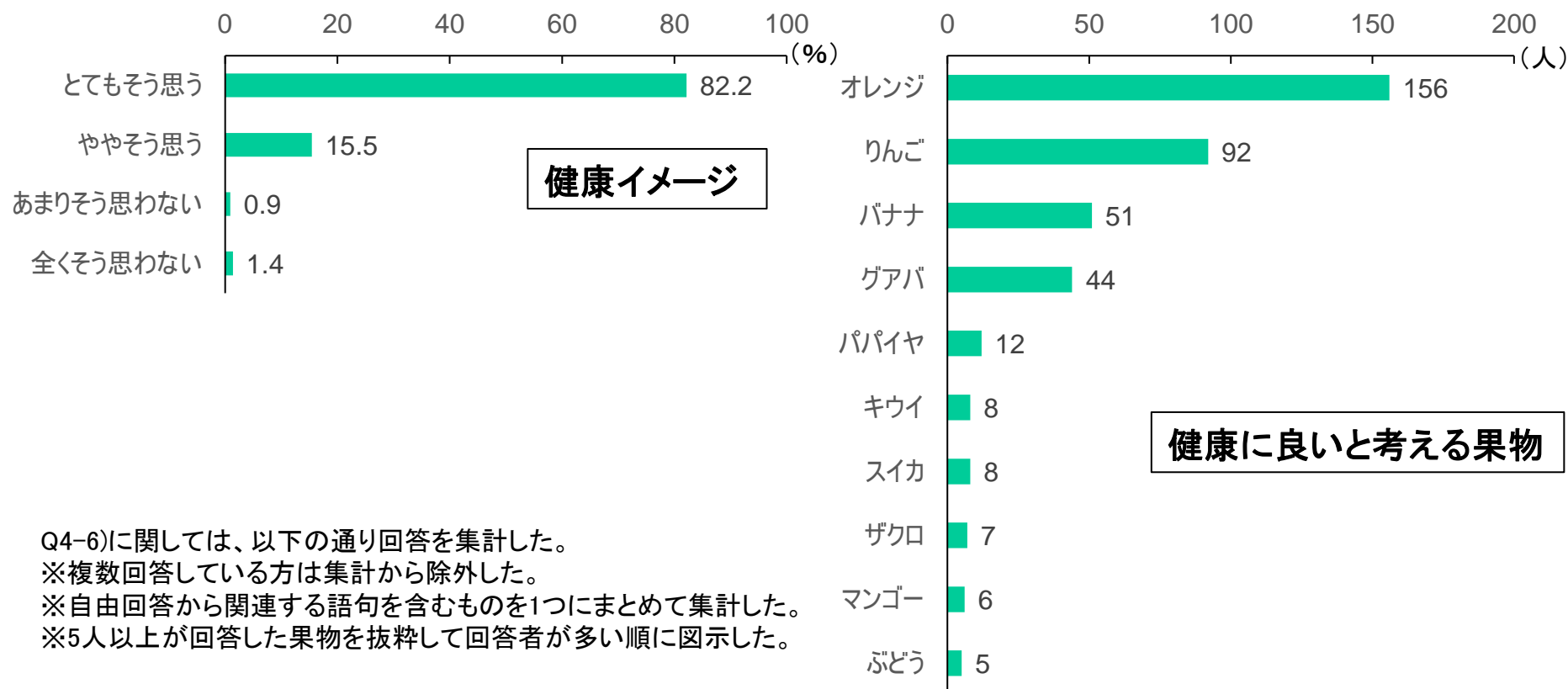
※5人以上が回答した成分や効果効能を抜粋して回答者が多い順に図示した。

果物に対する健康イメージ

- ・98%の方が果物は健康に良いと考えていた。
- ・健康に良いと考える野菜はオレンジと回答する方が顕著に多かった。

Q4-5) 果物をたくさん食べることは健康に良いと思いますか？(n=634、選択回答、1つのみ)

Q4-6) (5)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方)どの果物が最も健康に良いと考えていますか？(n=621、自由回答、1つのみ)



Q4-6)に関しては、以下の通り回答を集計した。

※複数回答している方は集計から除外した。

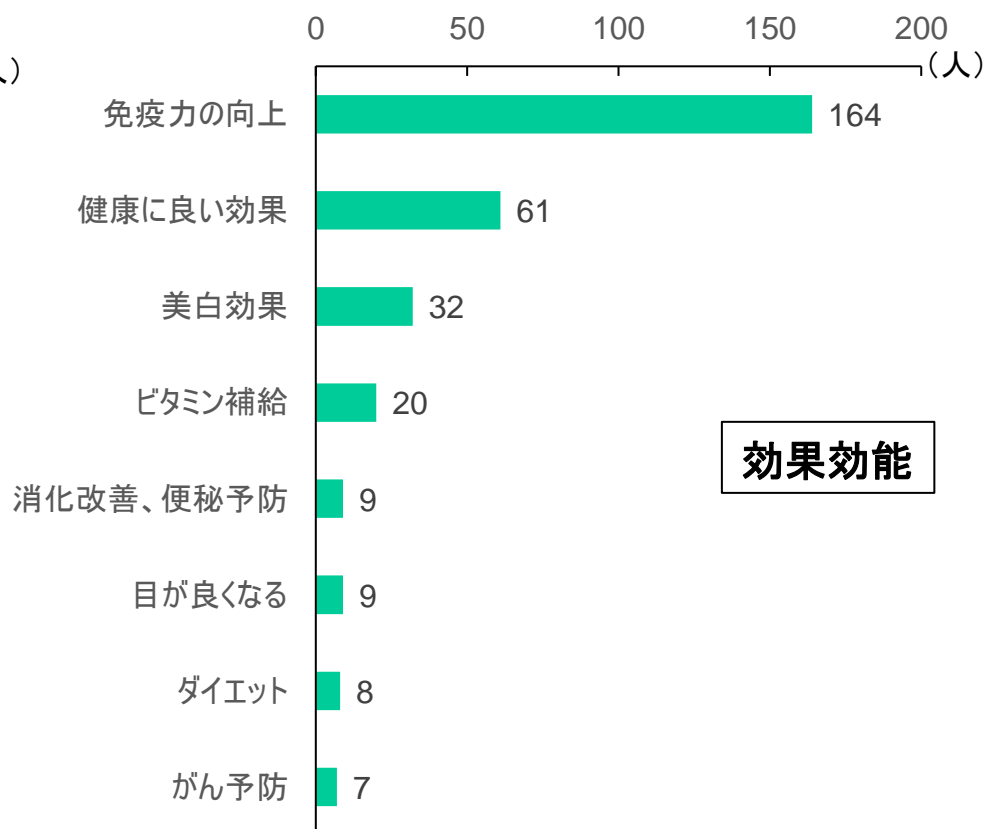
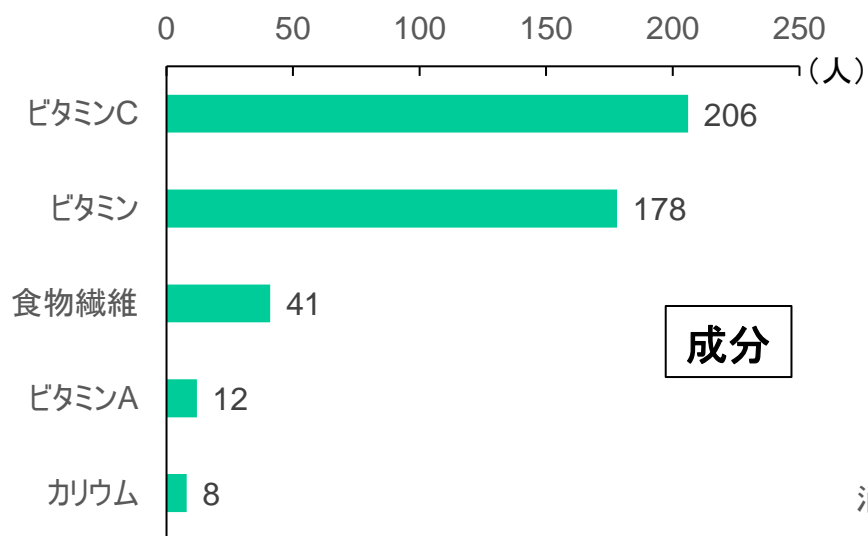
※自由回答から関連する語句を含むものを1つにまとめて集計した。

※5人以上が回答した果物を抜粋して回答者が多い順に図示した。

果物から想起される成分、効果効能

- ・果物に含まれるビタミン、特にビタミンCが健康に良いと考える人が顕著に多かった。
- ・免疫力向上を想起する人が顕著に多く、美白効果やビタミン補給を想起する人も多かった。

Q4-7)(5)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方)果物に含まれるどの成分が最も健康に良いと考えますか？(n=621、自由回答、1つのみ)
Q4-8)(5)で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた方)7)の成分にはどのような効果効能があると思いますか？(n=621、自由回答、1つのみ)



Q4-7)、8)に関しては、以下の通り回答を集計した。

※複数回答している方は集計から除外した。

※自由回答から関連する語句を含むものを1つにまとめて集計した。

※5人以上が回答した成分や効果効能を抜粋して回答者が多い順に図示した。

まとめ、考察

- ・「健康に良いと考える野菜」の上位にランクした野菜は、日本でも健康イメージの強い野菜であった。一方で、ニンジン回答の方が顕著に多いことが特徴的であった。
- ・野菜から想起する成分や効果効能として、食物繊維や消化改善を回答する人が多いのが特徴的であった。日本では、野菜の成分としてカロテノイドやポリフェノール、効果効能として抗酸化やメタボ予防などを想起する人も一定数いるが、ベトナムではそういった方はほとんどおらず、食物繊維やビタミンによる一次機能を野菜に想起する人が多いと考えられた。
- ・「健康に良いと考える果物」でオレンジと回答する方が顕著に多いことは、日本での調査結果と比較すると特徴的であった。また、グアバやパパイヤなど、ベトナムで多く生産される果物が上位にランクしていた。
- ・果物からはビタミンCや免疫力向上を想起する人が顕著に多かった。また、美白効果やビタミン補給を想起する人が多かったことから、果物に含まれるビタミンの効果に期待する人が多いと考えられた。

総括、今後の展望

- ・ベトナムは健康食品やヘルスクレーム付き商品に対する購入意欲が高く、その投資も惜しまないことから、確固たるエビデンスに基づいた健康食品を開発、普及させ、ベトナムにおける栄養改善や健康の維持・改善に繋げることが可能であると考える。特に、食品によるビタミンCの補給や免疫力向上に対する期待は高く、野菜や果物にもそれらを期待していることから、野菜や果物を含む免疫力向上を訴求する商品などを開発し、普及させていくことは重要であると考える。
- ・一方で、ベトナムでは肥満などの生活習慣病が大きな問題になっていることから、生活習慣病予防における野菜摂取の重要性の啓発と、関連するヘルスクレーム付き商品の普及をセットで行い、ベトナムにおける栄養改善や生活習慣病予防に繋げていくことも重要であると考える。ベトナムにおける栄養施策において重要な研究機関であるベトナム保健省国立栄養研究所などと連携し、現地での野菜摂取の啓発を行なっていくことも、ベトナムでの栄養改善プログラムとして重要であると考えられる。